

1行目タイトル(ゴシック体、12ポイント、センタリング)

3行目に所属・研究者名(10.5ポイント、右揃え)化工大学 化工研究室 化工太郎

【全般的な注意点】

4行目は空けて、5行目から内容を 2段組で記入してください。原稿枚数は図表を含めて、ポスター発表 1 件に対しA4 版 1 枚です。マージンは上下左右に 25 mmとしてください。本文文字サイズは10.5ポイント程度とします。一行あたりの文字数、文字間隔、行数等には厳密にはこだわりませんが、見易さを考慮してください。最後に、連絡先住所・TEL・E-mail をご記入ください。

電子ファイル(PDF)での配布となるため、図は白黒とカラーのどちらでもかまいません。

【研究概要】

以下化学工学会HP「化学工学会の役割」からの引用文となります。

化学工学はまさに化学のための工学であり、合理的な化学プロセスの開発・設計・操作を目的とする学問として、20世紀になって急速に発展してきました。それまで経験に頼ってきた生産技術は、今世紀初頭から始まった化学製品の急速な需要の増大に伴い体系化が進み、それを大きなバックボーンとして化学工学は発展してきました。まず、化学プラントを構築するために必要な共通の操作、つまり分離を中心とする単位操作という概念が化学工学に生まれました。その後、反応工学、プロセスシステム工学が生まれ、これらを支える熱力学、移動速度論、反応速度論などの基礎化学工学へと体系化が行われました。化学工学はよく化学を主とするプロセスの総合工学と言われています。すなわち、原料や製品はもちろん、エネルギー、環境、安全、資源、さらには法律、経済、社会までを総合的に考え、そのための手法を与える総合学問と言えるでしょう。そのため、化学のみならず、製鉄、金属精錬、繊維、プラスチック、紙パルプ工業、食品、医薬品などの各産業、さらに石油精製、原子力などのエネルギー産業などに化学工学が活用されています。さらに最近では、バイオプロダクトや電子材料、ニューセラミックスなどの新材料の生産、公害防止から地球規模までの環境問題の解決、新しいエネルギーや資源の開発など、化学工学はわれわれの生活に大きな貢献をしています。

図1. キャプション

【参考文献】

1)

2)

〒xxx-xxxx

xx県xx市xx区xx番地 xx号館xx号室

TEL: xxx - xxx - xxxx

E-mail: xxx@xxx-x.ac.jp

